

市町村名		東村					
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ	
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特性を生かした産業の振興		
事業内容	本村の主要観光施設である「東村村民の森つつじ園」のさらなる利便性向上のため、「東村村民の森基本計画」に基づき、園内施設の機能強化整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28	H29	H30	R1年度	R1年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	40,000	70,000	12,474	73,000	-
		(b)予算現額	26,784	64,357	12,657	66,418	-
		(c)増減額(b-a)	▲13,216	▲5,643	183	▲6,582	-
		(d)繰越額	-	-	-	-	27,835
		A.計(b+d)	26,784	64,357	12,657	66,418	27,835
		B.執行済額	26,784	64,357	12,657	38,583	27,835
		うち交付金充当額	21,427	51,485	10,126	30,866	21,564
		次年度繰越額	-	-	-	27,835	-
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	58.1%	100.0%
予算の状況の説明	入札不調に起因し計画が遅れ、不測の日数を要し一部繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観覧施設の整備(施設概要) 鉄筋コンクリート造り 1階 観覧施設 160㎡程度	目標	(観覧施設実施設計作成完了)	(整備完了)	()	()	
		実績	観覧施設実施設計作成完了	整備完了			
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	東村村民の森つつじ園の機能強化を図るため、屋外ステージ建築工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	観覧施設の整備完了	目標	()	(観覧施設実施設計作成完了)	(整備完了)	()	()
		実績		観覧施設実施設計作成完了	整備完了		
	【参考指標】 年間利用者数 118,000人以上	目標	()	()	()	()	(118,000人)
実績							
進捗状況説明	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化整備事業:屋外ステージ(建築)が完成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>度重なる入札不調に起因し計画が遅れ、不測の日数を要したことから今後は工程管理を徹底する必要がある。</p>	<p>早期に工事の発注を行うなど、次年度は計画通りに事業を進められるよう適切な工程管理に努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・当該施設は本村の一大イベントであるつつじ祭りの開催場所であるため計画的な事業を展開する。また、祭り開催中の施設利用者の満足度、安全性の向上に繋げるためアンケート等調査を行う。</p> <p>・令和2年度は屋外ステージ外構工事を計画している。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
66,418	65,538	52,430	13,108	880



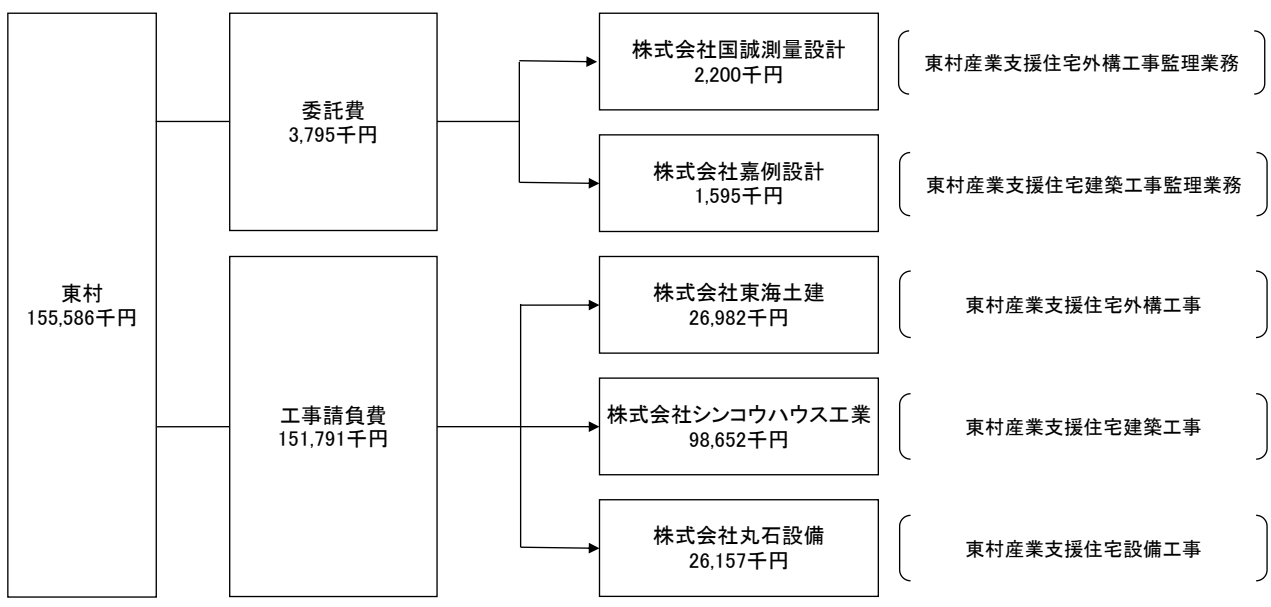
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札、一般競争入札を実施したがともに不調に終わったため、本事業で過去に実績のあった業者に対し見積依頼を行い、見積提出者のうち予定価格内の業者と随意契約した。地方自治法施行令にのっとり手続きを行ったことから適正であると判断している。</p> <p>○不用額もなく適正であったと考えている。</p> <p>○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村							
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	産業支援住宅整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ウ				
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	H29~R2	沖縄振興基本方針該当箇所	生活圏の充実			
事業内容	本村地域産業の推進と後継者・担い手の人材確保を図るため、産業支援住宅を整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R3年度		
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	(a)当初予算額	5,616	21,562	160,000	-		
		(b)予算現額	6,308	18,373	155,586	-		
		(c)増減額(b-a)	692	▲3,189	▲4,414	-		
		(d)繰越額	-	-	-	52,288		
	B.執行済額		6,307	18,373	103,298	52,288		
	うち交付金充当額		5,045	14,698	82,638	37,545		
	次年度繰越額		0	0	52,288	-		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	66.4%	100.0%		
	予算の状況の説明		工事施工直後に沖縄地方に接近した台風5号に起因する豪雨により、予定していた乗入道路の施工箇所が被災し、利用が困難となったことから、工事施工計画に変更が生じ、不測の日数を要したため、工事費に係る52,288千円を次年度に繰越した。令和2年度4月に繰越分の工事を完了した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	産業支援住宅の建設(4棟)及び造成外構工事の実施(施設概要) 鉄筋コンクリート造り平屋建て 4棟 1棟 96.71㎡		目標 (基本計画策定)	建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の実施	建設(4棟)及び造成外構工事の実施	()		
			実績	基本計画策定完了	建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の完了	建設(4棟)及び造成外構工事の完了		
			目標	()	()	()		
		実績						
達成状況説明		H29年度に基本計画の策定を完了した。H30年度に建築基本実施設計及び敷地外構整備設計の作成を完了した。令和元年度は工事施工直後に沖縄地方に接近した台風5号に起因する豪雨により、予定していた乗入道路の施工箇所が被災し利用が困難となったことから、工事施工計画に変更が生じ不測の日数を要したため、年度内に建築工事及び設備工事を完了することが出来なかった。令和2年度4月に繰越分の建築工事、設備工事を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)	
	産業支援住宅の建設(4棟)及び造成外構工事の完了		目標	()	(基本計画策定)	建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の作成完了	建設(4棟)及び造成外構工事の完了	()
			実績		基本計画策定完了	建築実施設計及び敷地造成外構整備設計の作成完了	建設(4棟)及び造成外構工事の完了	
	【参考指標】 第1次産業従事者入居数4戸		目標	()	()	()	()	4戸
			実績					4戸
進捗状況説明		産業支援住宅の建設については、令和2年度4月末で整備(4戸)が完了し、令和2年6月から7月にかけて入居者募集を行った。令和2年8月に供用を開始し、令和2年度の目標値である第1次産業従事者入居数4戸を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	住居がないことによる第1次産業従事者の新規参入阻害要因の解消及び後継者・担い手の人材確保を図るために産業支援住宅を整備し、成果目標(第1次産業従事者入居数4戸)を設定した。設定した目標値を達成しており、特に課題は無いと考える。	産業支援住宅の建設が完了後、滞りなく入居者募集・選考に取り組むことで目標値である第1次産業従事者入居数4戸を達成することができたため、改善の必要はないものと考えられる。
	今後の取り組み方針	
農業委員会及び関係機関と連携し第1次産業を推進できるような取組を検討する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
155,586	155,586	120,183	35,403	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札及び一般競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○不用額もなく適正であったと考える。 ○費目、用途については完了検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	